

平成 22 年 11 月 2 日

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社

代 表 者 名 取締役 執行役員社長

林 朝 則

(コ-ド番号 6839 東証・大証第一部)

問 合 せ 先 I R ・ 広 報 室 高 中 直 幸

(T E L . 0 7 2 - 8 7 0 - 4 3 9 5)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 10 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1 . 第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正

(平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成 22 年 5 月 10 日発表予想 (A)	170,000	7,200	7,000	5,600
今 回 修 正 予 想 (B)	154,000	4,500	4,700	3,800
増 減 額 (B - A)	16,000	2,700	2,300	1,800
増 減 率 (%)	9.4	37.5	32.9	32.1
(ご参考) 前期実績(平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	167,095	10,068	9,588	7,309

2 . 通期連結業績予想数値の修正

(平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 22 年 5 月 10 日発表予想 (A)	350,000	13,000	12,900	10,000
今 回 修 正 予 想 (B)	320,000	9,000	9,200	7,100
増 減 額 (B - A)	30,000	4,000	3,700	2,900
増 減 率 (%)	8.6	30.8	28.7	29.0
(ご参考) 前期実績(平成 22 年 3 月期)	314,911	11,148	11,684	10,328

3. 第2四半期連結累計期間業績予想修正の理由

当社の主要市場である米国経済は、住宅市場の落ち込みや失業率の高止まりなどから景気回復は足踏み状態が続き、購買意欲は弱く家電製品の単価下落が進行しております。このような米国市場の低迷と価格競争の激化により、当社の主要製品である液晶テレビの売上高が減少いたしました。これに加えて急激な円高の影響もあり、売上高全体でも計画を下回る見込みであります。

また、利益面につきましては、減収による減益により計画を下回る見込みであります。

以上の理由により、平成22年5月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間業績予想における、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益をそれぞれ修正いたします。

4. 通期連結業績予想について（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

当社の主要市場である米国は景気回復が続くものの、回復ペースは緩慢であると見込まれており、消費マインドの冷え込みから、当社の主力製品である液晶テレビにおいても価格競争は厳しい状況が続くものと予想されます。

これらの条件を勘案した結果、平成22年5月10日に公表いたしました通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

（注） 業績予想は、現時点で入手した情報に基づき判断したものでリスクや不確実性を含んでおります。

主要市場である米国をはじめ、海外の経済情勢の変化や製品価格の急激な変動などにより実際の業績は見通しと異なることがあります。

以 上